Docket No.: 2523-081 PATENT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of

Inventor: Masao YAMAMOTO et al.

Serial No. To be assigned : Group Art Unit:

Filed: SEPTEMBER 2, 2002 : Examiner:

For: CALENDAR

CLAIM OF PRIORITY and TRANSMITTAL OF CERTIFIED PRIORITY DOCUMENT

Commissioner For Patents P.O. Box 1450 Alexandria VA 22313-1450

Dear Sir:

In accordance with the provisions of 35 U.S.C. 119, applicant hereby claims the priority of:

Japanese Patent Application No. 2002-259151

cited in the Declaration of the present application. The Japanese application was filed in Japan on September 4, 2002.

A Certified Copy of the priority document is enclosed herewith...

Respectfully submitted,

Israel Gopstein

Registration No. 27,333

P.O. Box 9303 Silver Spring, MD 20916-9303 September 2, 2002 IG/s

(301) 438-9600 (301) 438-9700 (fax)



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 Date of Application:

2002年 9月 4 日

出 願 Application Number:

特願2002-259151

[ST. 10/C]:

Applicant(s):

[JP2002-259151]

出 願 人

株式会社ムッシュ

特許庁長官 Commissioner, Japan Patent Office 2003年 7月18日



【書類名】 特許願

【整理番号】 P-MUSH

【提出日】 平成14年 9月 4日

【あて先】 特許庁長官 太田 信一郎 殿

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区岩本町2丁目8番5号

株式会社 ムッシュ内

【氏名】 山本 将生

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市東成区中本5丁目12-26-1109

【氏名】 高山 政士

【特許出願人】

【識別番号】 390026985

【住所又は居所】 東京都千代田区岩本町2丁目8番5号

【氏名又は名称】 株式会社 ムッシュ

【代理人】

【識別番号】 100065086

【住所又は居所】 東京都台東区東上野2-18-7共同ビル626号、

【弁理士】

【氏名又は名称】 前田 清美

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 057750

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0013679

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 カレンダー

【特許請求の範囲】

【請求項1】

七曜表の欄のほかに頒布者の表示欄とスポンサー用の広告欄を設けてなるカレンダー。

【請求項2】

前記七曜表の各日付欄に朝・昼・夕等の薬の服用時間帯が表示されている請求 項1に記載のカレンダー。

【請求項3】

前記各服用時間帯の表示部分に薬袋を着脱可能に取り付けることができるようにしてなる請求項2に記載のカレンダー。

【請求項4】

前記七曜表の各服用時間帯に対応する個所に係合孔が形成され、フックと頭部が幅の狭い首部で連続する係合片を備え、薬袋の上部にあけた孔に通した係合片の前記頭部が七曜表の所要の係合孔に挿入されてカレンダーの裏面に係合して薬袋が係合片により吊り下げられるようにした請求項2に記載のカレンダー。

【請求項5】

前記係合片は若干弾性を有する素材よりなり、頭部の横幅は係合孔の径よりも 大であるが、頭部は係合孔に挿入される際に撓められることにより横幅が小となって係合孔を通過し、裏側にて頭部が適度に弾性復元して裏面に係合するように した請求項4に記載のカレンダー。

【請求項6】

前記各服用時間帯が横方向に並んで表示され、かつ前記係合孔が横に並びにしかもスリットよりなる連通部で互いに接続されてなる請求項4に記載のカレンダー。

【請求項7】

前記七曜表の各服用時間帯の表示部分に服用指示票を着脱自在に取り付けることができるようにしてなる請求項2に記載のカレンダー。

【請求項8】

前記服用指示票を、再剥離性の粘着剤によって着脱自在に取り付けられるよう にした請求項7に記載のカレンダー。

【請求項9】

前記七曜表の各服用時間帯に対応する個所に係合孔が形成され、フックと頭部が幅の狭い首部で票本体と連続する服用指示票を備え、服用指示票の前記頭部が 七曜表の所要の係合孔に挿入されてカレンダーの裏面に係合して吊り下げられる ようにした請求項2に記載のカレンダー。

【発明の詳細な説明】

 $[0\ 0\ 0\ 1\]$

【発明の属する技術分野】

本発明は全く新規なカレンダーに関する。

[0002]

【従来のカレンダー】

カレンダーは自社の宣伝、広告媒体として顧客や消費者に頒布しており、したがってその制作費は自社が負担しており、その費用はないがしろにできない額となっている。

また、従来のカレンダーは単に七曜暦を表示したものに過ぎなかった。

[0003]

【発明の目的】

本発明はカレンダーにスポンサーの広告欄を設けて、同広告欄に掲載したスポンサーの広告掲載料でカレンダーの制作企画者あるいは頒布者がカレンダーを制作できるようにした。

$[0\ 0\ 0\ 4\]$

また、本発明はカレンダーの七曜表の日付欄に薬の服用時間帯の表示をし、その表示部に薬袋や薬の服用指示票を吊り下げることができるようにして薬の飲み忘れを防止できるようにし、また、薬を服用した後は次ぎの指定服用時間帯への薬袋や服用指示票の移動を容易に行なえるようにした。

[0005]

【発明の構成】

上記目的を達成するために、本発明の請求項1に係るカレンダーは、七曜表の 欄のほかに頒布者の表示欄とスポンサー用の広告欄を設けたものとしてある。

[0006]

本発明の請求項2に係るカレンダーは、請求項1に記載の七曜表の各日付欄に朝・昼・夕等の薬の服用時間帯が表示されたものとしてある。

[0007]

本発明の請求項3に係るカレンダーは、請求項2に記載の各服用時間帯の表示 部分に薬袋を着脱可能に取り付けることができるようにしたものとしてある。

[0008]

本発明の請求項4に係るカレンダーは、請求項2に記載の七曜表の各服用時間 帯に対応する個所に係合孔が形成され、フックと頭部が幅の狭い首部で連続する 係合片を備え、薬袋の上部にあけた孔に通した係合片の前記頭部が七曜表の所要 の係合孔に挿入されてカレンダーの裏面に係合して薬袋が係合片により吊り下げ られるようにしたものとしてある。

[0009]

本発明の請求項5に係るカレンダーは、請求項4に記載の前記係合片が若干弾性を有する素材よりなり、頭部の横幅は係合孔の径よりも大であるが、頭部は係合孔に挿入される際に撓められることにより横幅が小となって係合孔を通過し、裏側にて頭部が適度に弾性復元して裏面に係合するようにしたものとしてある。

$[0\ 0\ 1\ 0]$

本発明の請求項6に係るカレンダーは、請求項4に記載の各服用時間帯が横方向に並んで表示され、かつ前記係合孔が横に並びにしかもスリットよりなる連通部で互いに接続されてなるものとしてある。

[0011]

本発明の請求項7に係るカレンダーは、請求項2に記載の七曜表の各服用時間 帯の表示部分に服用指示票を着脱自在に取り付けることができるようにしたもの としてある。

$[0\ 0\ 1\ 2]$

本発明の請求項8に係るカレンダーは、請求項7に記載の服用指示票を、再剥離性の粘着剤によって着脱自在に取り付けられるようにしたものとしてある。

[0013]

本発明の請求項9に係るカレンダーは、請求項2に記載の七曜表の各服用時間 帯に対応する個所に係合孔が形成され、フックと頭部が幅の狭い首部で票本体と 連続する服用指示票を備え、服用指示票の前記頭部が七曜表の所要の係合孔に挿 入されてカレンダーの裏面に係合して吊り下げられるようにしたものとしてある

[0014]

【実施例】

以下、本発明の実施例を添付図面に基づいて説明する。

本発明のカレンダーは自社、すなわち頒布者の宣伝広告用に止まらず、スポンサーの広告欄を設けて、同広告欄にスポンサーの商品を掲示することにより、カレンダーの頒布者や企画者がスポンサーの広告料収入を得ることができるようにしてあり、いわばビジネスモデル特許として有用に活用できるようにしてある。

[0015]

また、本発明における七曜表は単なる七曜暦ではなく、薬を所定時間に常に忘れることなく服用せしめるように工夫した薬服用カレンダーにもしてある。

すなわち、本発明のカレンダー1は図1に示されるように1か月の七曜表(七曜暦)3Aを表示したものに止まらず、七曜表のほかに、スポンサーの広告欄15とカレンダーの頒布者の表示欄16を設けてある。

[0016]

上記スポンサーの広告欄15は、例えば製薬会社、医療機器メーカー、医療用食品メーカー、介護用品メーカーあるいは介護業者等の医療関連会社の商品、サービスの広告を印刷する欄としてあって、頒布者の表示欄16は、薬をカレンダーとともに頒布する例えば薬局、薬店名や病院名とその住所、電話番号等を印刷する欄としてあり、頒布者や企画者がスポンサーからの広告料収入を得ることができるようにしてある。

$[0\ 0\ 1\ 7]$

しかして前記七曜表3Aの各日付欄3、3・・・内には、例えば「朝」・「昼」・「夕」等の服用時間帯4の表示を付してあるとともに、各服用時間帯の表示に対応する縦長の長円形の孔よりなる係合孔4a、4b、4cを設けてあって、その所要の係合孔へ係合片6によって薬袋2を吊り下げるようにしてある。

[0018]

係合片6は例えば図2に示されるように略円形状の頭部7と略二等辺三角形状のフック部8が横幅の狭い首部9で連続する形状の薄手のボール紙や合成樹脂板等の薄板よりなるものとしてあり、上記頭部7を前記係合孔4a、4b、4cの所要のものに挿通せしめてこの頭部を係合孔の裏側へ係合せしめ、またフック部8を薬袋2の上辺部にあけた孔10に係合せしめて薬袋を吊り下げるようになっている。

[0019]

次ぎに、係合孔4a、4b、4cと係合片6の寸法関係を図2、3に示す具体例に基づいて説明する。

係合片 6 はその頭部 7 が係合孔に挿通されてカレンダーの裏面に係合するので、頭部 7 の横幅 R を係合孔の横幅 r_2 よりも大とし、かつ首部 9 の幅 N を係合孔の横幅 r_2 より小とする。また、頭部 7 の幅 R は係合孔の縦幅 r_1 よりも小とする。

[0020]

すなわち、頭部 7 の横幅 R、係合孔 4 a、 4 b、 4 c の横幅 r_2 と縦幅 r_1 および首部 8 の幅 N の関係は、

$$r_1 \ge R > r_2 > N$$

とする。

[0021]

また、フック部8の横幅Wは薬袋2にあけられた吊り下げ用の孔10の径よりも大とし、頭部7の横幅Rは吊り下げ用の孔10の径よりも小とする。

[0022]

次ぎに、上述した構成のカレンダーに薬袋2を取り付ける具体例について説明 する。 まず、係合片6をその横幅方向が上下となるようにして頭部7を薬袋2の上辺部にあけた吊り下げ用の孔10に挿通し、さらに頭部7を係合孔4a、4b、4cの所要のものに通してカレンダーの裏側に臨ませる。

[0023]

頭部7が係合孔を通過して首部9が係合孔の位置に来たら、係合片6をその挿通方向まわりに90度回転させる。

[0024]

かくすると、頭部7の横幅Rが係合孔4a、4b、4cの横幅 r_2 よりも小であるから、頭部7がカレンダーの裏面に係合し、また、薬袋2は吊り下げ用の孔10がフック部8における左右の上縁に係合して安定よろしく吊り下げられる。

薬袋2を取り外す際には、係合片6を再び90度回転させ、頭部7の側縁を縦 方向にして引き出せばよい。

[0025]

上述した実施例においては、係合孔を縦長の長円形状としたが、円形の係合孔とする場合もあり、この場合には係合片6を若干弾性を有する素材、例えばボール紙や薄手の合成樹脂材で構成し、頭部7は係合孔4a、4b、4cに挿入される際に撓められることにより横幅が小となって係合孔を通過させられ、カレンダーの裏側にて頭部が弾性復元力により元の横幅に戻されて係合する。なお、係合片の素材は破れにくい材質のものが好ましい。

[0026]

上述のように構成した本発明に係るカレンダーの使用方法の一例について説明 する。

病院や薬局で受け取った薬袋2を最初の服用時間帯に対応する被係合部の係合 孔に吊り下げておき、最初の服用時に係合片6を係合孔4a、4b、4cから外 して薬袋から1回分の薬を取り出して服用し、薬袋を次回の服用時間帯に対応す る被係合部の係合孔に吊り下げておく。

[0027]

次ぎに、本発明の他の実施例を図4、5に基づいて説明する。

本実施例のカレンダー1も図4に示されるように、上述した実施例のものと同

じく七曜表3Aのほかにスポンサーの広告欄15とカレンダー頒布者の表示欄16を設けてある。

[0028]

七曜表3Aの各日付欄3、3・・・内には例えば「朝」・「昼」・「夕」等の服用時間帯4の表示を付してあるとともに、各服用時間帯の表示に対応する係合孔4a、4b、4cを設けてあって、所要の係合孔へ後述の係合片6によって薬袋2を吊り下げるようにしてある。

[0029]

しかして服用時間帯用の係合孔4a、4b、4cは図5に拡大して示すように スリットよりなる連通部5によって互いに接続されており、連通部5は1日分の 係合孔4a、4b、4cだけを接続するように設けるばあいもあるし、数日分に ついて、あるいは1週間分について連続して設けるばあいもある。

[0030]

薬袋は病院や薬局から渡された処方袋2aをそのまま使用するばあいもあるし、あるいは図6に示すように処方袋2aをさらにプラスチックフィルム袋よりなる大きな薬袋2bに入れて薬袋2として使用するばあいもあり、大きな薬袋2bは後胴部の上部にフラップ11のあるものとし、このフラップに係合片の頭部を通す孔10aをあけてある。

[0031]

係合片6はその頭部7が係合孔4a、4b、4cに挿入されてカレンダーの裏面に係合するので、頭部7の横幅Rは係合孔の横幅rよりも大とし、かつ首部9の幅Nを係合孔の横幅rおよび薬袋係合孔の横幅より小としてあり、また、フック部8の幅Wは薬袋係合孔の横幅よりも大としてある。

[0032]

次ぎに、上述したカレンダーの使用法について説明する。

薬袋の孔10に通した係合片6の頭部7を例えば朝食後の係合孔4aと昼食後の係合孔4bとを結ぶ連通部5内に差し込んでから係合片を朝食後の係合孔4a まで連通部5で移動させて朝食後の係合孔4bへ係合片の頭部を落とし込むことにより薬袋を朝食後の係合孔4aの箇所に吊り下げる。

[0033]

朝食後薬袋から薬を取り出して服用したら、係合片を係合孔4 a の上部まで引き上げ、連通部5に沿って昼食後の係合孔4 b まで移動させ、その係合孔4 b内に落とし込むことにより、薬袋を昼食後の薬服用位置に吊り下げておく。

以下、同様の手順で係合片を連通部5により夕食後の係合孔4 c へ移動せしめて、夕食後の服用位置に薬袋を吊り下げる。

[0034]

したがって、一旦朝食後の係合孔4aに薬袋を吊り下げたら、以後夕食後の係合孔4cまでの薬袋の移動は係合片を各係合孔から取り外して次ぎの係合孔へ挿入するという煩わしさを解消できる。

[0035]

なお、夕食後に薬を服用したときは係合孔を夕食後の係合孔4cから取り外し 、次ぎの日の朝食後の係合孔へ前述した要領で係合片により薬袋を吊り下げる。

[0036]

上述した各実施例のものでは、薬袋2をカレンダー1に吊り下げるようにしてあるが、多数種の薬を服用する場合は薬袋が厚くなって嵩張ったり、重くなったりするので、薬袋を吊り下げる代わりに例えば図7に示されるように「薬を服用しましたか」等の表示を付したカードや付箋タイプの服用指示票12をカレンダー1に吊り下げるようにする場合もある。

[0037]

上記服用指示票12は前記係合片6と同じく上部に頭部7を有し、頭部と指示 票本体13との間に幅の狭い首部9が形成されており、係合孔4a、4b、4c との寸法関係や係合方法は係合片と同じであり、頭部7を所要の服用時間帯の係 合孔へ引っ掛けて吊り下げる。

[0038]

この場合は、服用時間帯に吊り下げてある服用指示票を確認して、別途薬袋から薬を取り出して服用し、服用後は次ぎの服用時間帯の箇所に服用指示票を移動させる。

[0039]

また、服用指示票は図8に示すように頭部や首部を設けずに、上辺の裏面に設 けた粘着剤14によってカレンダーの服用時間帯の箇所に取り付けるようにする 場合もあり、粘着剤には何度も貼ったり剥がしたりすることのできる再剥離性の 良好な例えばアクリル系粘着剤を使用する。

[0040]

この場合も服用時間帯に貼り付けてある服用指示票を確認して、別途薬袋から 取り出した薬を服用し、服用後は次ぎの服用時間帯の簡所に服用指示票を貼り付 けておく。

[0041]

この場合にはカレンダーの所要の服用時間帯4の位置に服用指示票を貼り付け ればよいので、カレンダーに服用時間帯用の係合孔をあける必要はない。

$[0\ 0\ 4\ 2\]$

さらに、上述した各実施例においては、1枚ものの1か月分のカレンダーの例 を挙げたが、1枚の裏表で2か月分のカレンダーとする場合もあり、この場合に は係合孔を裏表共用とするので、係合孔をあける位置あるいは七曜表の印刷位置 を適宜調整する必要がある。

[0043]

なお、以上の説明中において薬の服用とは単に薬を飲むことだけではなく広く 薬の使用を指し、いうまでもなく点眼薬や塗布薬等の外用薬の使用を忘れないよ うにするために本発明のカレンダーを使用できる。

$[0\ 0\ 4\ 4]$

【本発明の作用、効果】

本発明に係るカレンダーによれば、頒布者の表示欄のほかにスポンサーの広告 欄を設けてあるので、広告欄に広告するスポンサーを募り、同広告欄にスポンサ ーの商品を掲示することにより、カレンダーの頒布者や企画者はスポンサーから の広告料収入を得ることができ、新ビジネスモデルとして有用に活用できる。

[0045]

また、七曜表に薬袋や服用指示票を取り付けることができる薬服用カレンダー としたものでは、次に薬を服用すべき時間帯が一目瞭然にわかり、しかも薬袋あ るいは服用指示票をカレンダーに吊り下げておくことができるようにしてあるので、薬や指示票が目につきやすく、薬の飲み忘れを防止することができる。

[0046]

上記カレンダーを薬服用カレンダーとしたものでは、例えば病院や薬局で患者に薬を渡す際に無料で頒布することができて投薬指導用として利用し易いというメリットがあり、しかも製薬会社等の医療関係業者のスポンサーとしては、薬を服用する者すなわち患者に対してカレンダーが頒布されるので、カレンダーの制作費を含む広告費に十分見合う広告効果が得られるという利点がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係るカレンダーの実施例を示す平面図。

【図2】

係合片の平面図。

【図3】

係合孔を拡大して示す平面図。

図4

本発明に係るカレンダーの他の実施例を示す平面図。

【図5】

係合孔を拡大して示す平面図。

【図6】

薬袋の他の例を示す斜視図。

【図7】

服用指示票の一例を示す平面図。

【図8】

服用指示票の他の例を示す平面図。

【符号の説明】

1 カレンダー

2 薬袋

3 A 七曜表

3 日付欄

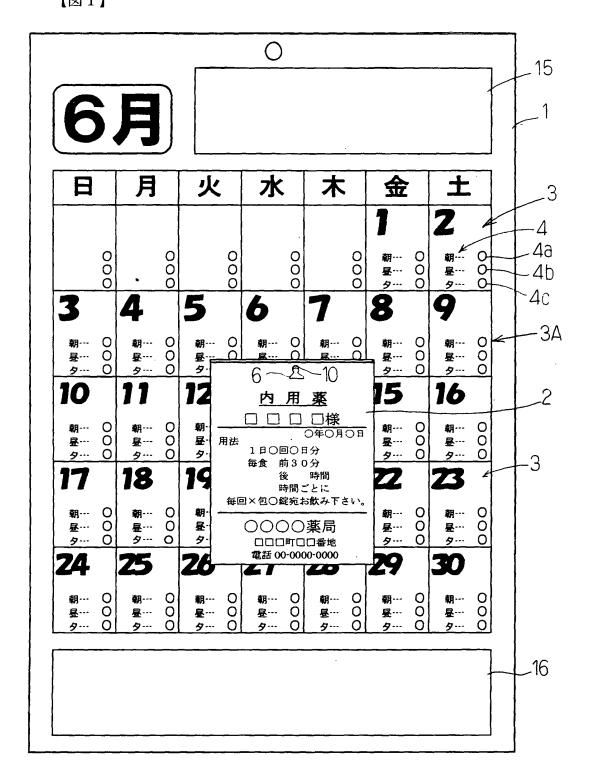
4 服用時間帯

5 連通部

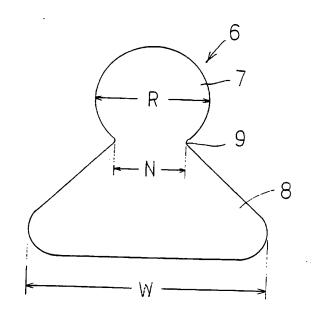
- 6 係合片
- 8 フック部
- 10 袋の孔
- 12 服用指示票
- 1 4 粘着剤
- 16 頒布者の表示欄

- 7 頭部
- 9 首部
- 11 フラップ
- 13 指示票本体
- 15 スポンサーの広告欄

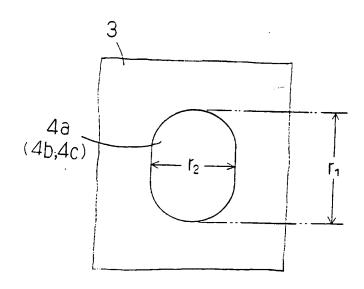
【書類名】 図面 【図1】



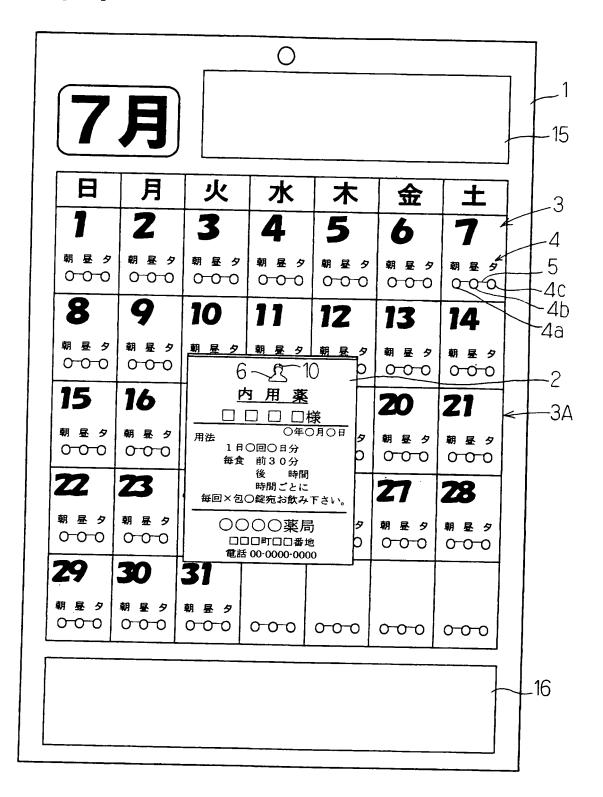
【図2】



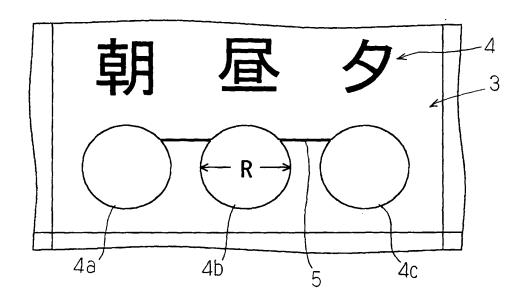
【図3】



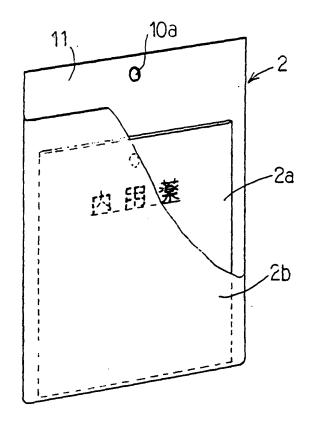
【図4】



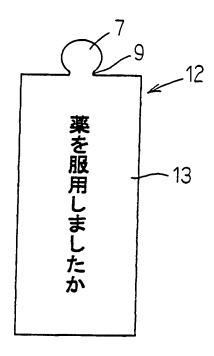
【図5】



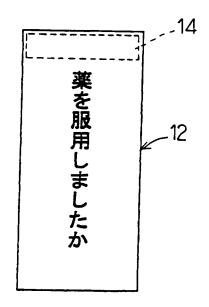
【図6】



【図7】



【図8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】

カレンダーにスポンサーの広告欄を設けて、同広告欄に掲載したスポンサーの カレンダーの企画者や頒布者が広告料収入を得ることができ、またカレンダーの 七曜表の日付欄に薬袋や薬の服用指示票を吊り下げることができるようにして薬 の飲み忘れを防止できるようにする。

【解決手段】

七曜表3Aの欄のほかに頒布者の表示欄とスポンサー用の広告欄を設け、また 七曜表の各日付欄3、3に朝・昼・夕等の薬の服用時間帯4が表示されたものと して、各服用時間帯の表示部分に薬袋2を着脱可能に取り付けることができるよ うにした。

【選択図】 図1

特願2002-259151

出願人履歴情報

識別番号

[390026985]

1. 変更年月日 [変更理由]

1990年11月27日

史理出」

新規登録

住 所 名

東京都千代田区岩本町2丁目10番3号

株式会社ムッシュ

2. 変更年月日 [変更理由]

1997年 6月 9日

[多史廷田]

住所変更

住 所

東京都千代田区岩本町2丁目8番5号

氏 名

株式会社ムッシュ